

(ア) の「新潟らしい教育～」の「新潟らしい」をどのように定義しているか？

新潟市の教育ビジョンでは、【学・社・民の融合による教育の推進】を基本的な考え方と位置づけています。学校の「学」、公民館や図書館などの社会教育施設を「社」、地域住民や家庭などを「民」として、それぞれが役割を担い、一体となって教育活動を進めることで、大きな力が発揮できるとしているものです。新潟市では現在すべての小・中学校全校に地域教育コーディネーターを配置し、地域と学校のひと、もの、ことをつなぐ教育活動を推し進めています。このように、「学・社・民の融合」によって、人づくり、地域づくり、学校づくりをすすめているところ、さらには農業体験などを通じて、食への理解やふるさとへの愛着を育む「新潟発わくわく教育ファーム」の充実、教員 OB など地域の教育力を活用する放課後の学習支援などが、新潟らしさであると考えています。

また、これらの施策や事業をささえる新潟市にふさわしい教育体制として、教育委員の増員や担当区制、区・中学校区教育ミーティングなど、地域により密着した教育行政を進める体制づくりを行っています。